

日本語ドメイン名運用試験 フェーズ1について

社団法人

日本ネットワークインフォメーションセンター

2000年12月4日

JPNICの考え方

- 多言語ドメイン名はクライアント側での対応が必須
 - サーバでの対応は無理
- クライアント側での対応を推進
 - 標準化への貢献と推進
 - 関係者への働きかけ
 - 試験環境、移行ツール等の提供

運用試験実施方針

- フェーズ1 (2000/11/6～2001/5/6)
 - JP ゾーンの名サーバに実験用日本語ドメイン名を設定
 - 多言語ドメイン名システムへのアクセスを先行して評価するための試験環境を提供

運用試験実施方針

- フェーズ2(2001/5/7～標準化終了まで)
 - 利用者から登録された日本語ドメイン名を JP
ゾーンのネームサーバに設定
 - 各種アプリケーションの多言語ドメイン名対応や、
多言語ドメイン名の普及を促進
 - IETF で多言語ドメイン名の文字エンコーディン
グ標準化(Proposed Standard RFC化)が終了す
るまで継続

正式運用

- 日本語ドメイン名運用正式サービス(標準化終了後～)

フェーズ1の位置付け

- DNSに登録された日本語ドメイン名の確認
 - 既存のDNSとの整合性
 - DNS上での表現方法
- 実際にアクセスできる名前をJPゾーンに登録
 - 日本語ドメイン名試験.JP
- アクセスの結果を確認するための仕掛け
 - 今後拡充

JPゾーンの設定

- NSレコード

```
$ORIGIN JP.  
BQ--3BS6KZZMRKPDBSJQ4EYKIMHTKQGYUZU2CM  
                IN NS ns1.nic.ad.jp.  
                IN NS ns2.nic.ad.jp.
```

- Aレコード

```
$ORIGIN BQ--3BS6...U2CM.JP.  
@ IN A      202.12.30.250
```

- PTRレコード

```
$ORIGIN 30.12.202.in-addr.arpa.  
250      IN PTR      BQ--3BS6...U2CM.JP.
```

フェーズ1開始にともなう措置

- 日本語ドメイン名と認識される文字列の予約ドメイン名指定
 - RACEの識別子(bq--)で始まる文字列
 - BRACEの識別子(-8q9)で終わる文字列
 - 今後新たに追加が必要
 - UTF6の識別子(wq--)で始まる文字列
 - DUDEの識別子(dq--)で始まる文字列
 - LACEの識別子(lq--)で始まる文字列

フェーズ1環境に関する メールアドレス

- 利用者ML
 - mdnkit-users@nic.ad.jp
 - 登録は
<http://www.nic.ad.jp/jp/pr/ml.html#subscribe>
- お問い合わせ
 - idn-cmt@nic.ad.jp